

結核

◇ 結核とは…

「結核菌」による慢性の感染症

症状：咳・痰・発熱 全身の倦怠感、呼吸困難がでることもある

【初期は風邪症状】

2週間以上続く風邪は要注意！ 必ず受診して診察を受けましょう！



◇ 結核は昔の病気？… No！

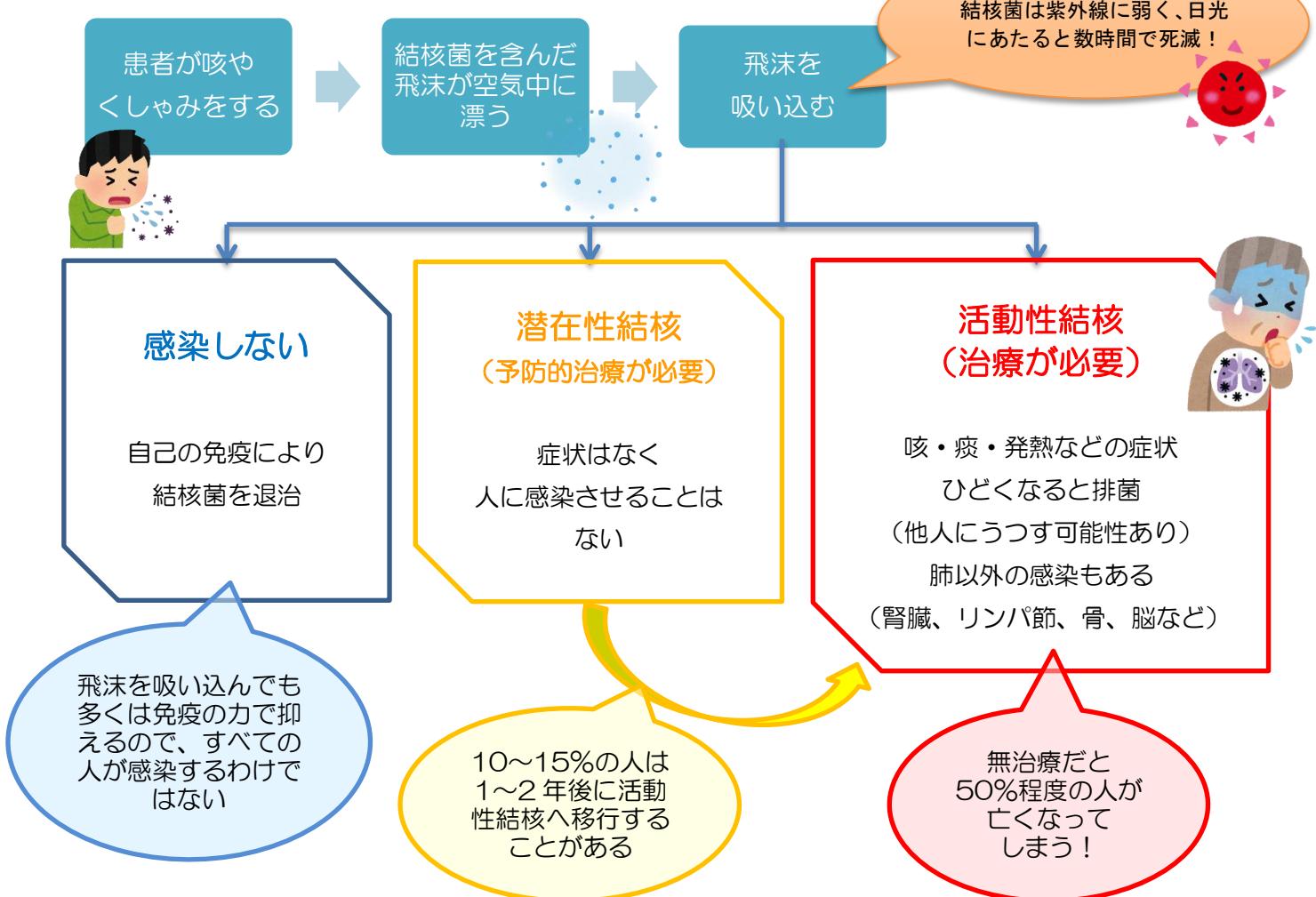
欧米の先進国は結核にかかる率が人口10万人あたり10以下の「低まん延国」に対して、日本は人口10万人あたり13.3（2017年）の「中まん延国」。

毎年15000人以上の患者が発生し、約2000人が命を落としています。そのうち2/3は65歳以上の高齢者で、重症化することも少なくありません。

また、近年では**20代の若者の感染も増えています**。

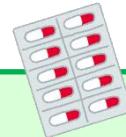
忘れてはいけない日本の最大級の感染症のひとつです。

◇ どのようにして感染する？… 飛沫感染、空気感染



◇ 結核の治療

治療費用は、感染症法による公費負担制度があります。
詳しくは保健所や医療機関まで！



薬物治療

基本的には、薬を服用します。3～4種類の薬剤を組み合わせて飲むことが一般的です。
服用期間は、おおむね6ヶ月です。

また、症状がなく、潜在性結核の場合でも、医師の指示通りに薬を内服することで活動性結核への移行を防ぐことができます。

どちらの場合でも、医師の指示に従って処方された薬を最後まできちんと内服することが何よりも重要です。（薬剤耐性菌をつくらないため）

入院治療

結核を発病して、痰の塗沫検査で陽性の場合は、他の人にうつしてしまう恐れがあるため入院をします。通常は2か月程度です。

排菌がなくなり、他の人にうつさなくなれば退院です。

◇ 結核を予防するために

1. 予防接種



子どもの結核予防としてBCG接種が有効です。（標準的接種期間は生後5ヶ月から8ヶ月、遅くとも1歳まで）BCGの予防効果は10～10数年といわれています。

2. 健康診断

1年に1回、学校、職場、地域で実施される健康診断（胸部X線検査）を受けましょう。

3. 咳エチケット

咳やくしゃみをするときは、ティッシュやマスク、ハンカチで口を抑えましょう。



4. 疲れをためない、睡眠をしっかりとる

免疫力が低下すると感染・発症しやすくなります。日頃から栄養・休養を上手にとりましょう。

特に、副腎皮質ステロイド剤の使用、コントロール不良の糖尿病、喫煙、血液透析、臓器移植に際しての免疫抑制剤の使用なども、発病リスクが高くなるため、日常から体調管理を行いましょう。



5. 2週間以上咳が続くときは、医療機関へ

自分だけでなく周りの人に広げないために、早めに治療を開始することが大切です。